

ふくよか

2015夏号

■長崎県病院企業団本部
■平成27年7月発行

目次 CONTENTS

p2.....企業長より

日本の幸福度について

p4.....特集① 速報 平成26年度決算見込み

平成26年度 決算見込みをお知らせします

p5.....特集② 新規採用職員研修 in いこいの村長崎

研修の様子を写真と共に紹介します

p6.....話題の職員紹介

本部の新しい仲間です！

p7.....地域から

精神医療センター ～精神科医療の専門病院～

p8.....Break Time

[休みの期待感]



新規採用職員みんなで「ハイ、チーズ!!」

vol.
04

日本の幸福度について

(企業長 米倉 正大)

国連の「**国別幸福度ランキング**」が、今年も発表されました。3年前から発表されており、日本は今年46位です。この低さは大いに気になる場所です。

スイス、フィンランド、デンマーク、ノルウェーなど北欧の国々はベスト10の定番です。幸福度の指標はさまざま、健康寿命、社会的支援、人生選択の自由度、汚職レベルの低さなどでは、日本は間違いなくベスト10に入ると思いますが、順位を下けている原因は「**寛容度**」と「**ディストピア**」の低さであろうと思われます。逆に幸福度の高い国は、特にディストピアが高く評価されているように見受けられま

す。ディストピアという聞きなれない言葉を、みなさんはご存じですか。ユートピア（現実には決して存在しない理想的な社会）とは対をなす言葉です。

人間の幸福の考え方というのは、地域や国によって異なります。世界をひとつの物差しで測ることなど適当でないのかもしれない。しかし、ほかの国の人の思いを知って、自分自身を振り返るといことも大切です。

このランキングを見て、北欧の多くの人を知っているという **Jan te Law (ジャンテ ローウ)** という言葉を思い出しました。約30年前にフィンランドで1か月ほど研究生活をする機会があり、そのとき出会った本に書いてあったのです。そもそもこの教えは

デンマークで古くから知られており、次の11項目からなります。

- ① 自らを特別であると思うな。
- ② 相手と同等の地位であると思うな。
- ③ 相手より賢いと思うな。
- ④ 相手よりも優れていると思いたい上がるな。
- ⑤ 相手よりも多くを知っていると思うな。
- ⑥ 相手よりも自らを重要であると思うな。
- ⑦ 自分は何かが得意であると思うな。
- ⑧ 相手を笑うな。
- ⑨ 相手の誰かが自分を気にかけていると思うな。
- ⑩ 相手に何かを教えることができると思
- ⑪ 相手が自分について知らないことがあると思

これらがデンマーク人の心の中に染み込んでいるというのです。ちょうど日本人の心の中にある武士道と同じようなものかもしれません。

Jante Lawは、日本の教育とは真逆の教えです。人よりも努力すれば、人よりも豊かな生活が待っているという教えが多く日本人の心に根付いていますが、国連は、国民の幸福はその真逆のところにあるというのです。

10数年前の日本ではゆとり教育が行われていましたが、子どもたちの学力低下が心配され始めると、これが見直され、再び競争の社会へと逆戻りすることになりました。日本のような国では、ある程度の競争は必要なのでしょう。Jante Lawは、私たち日本人には無理な要求なのでしょうか。

もう一つ思い出すことがあります。さだまさしさんが、長崎大学第一外科出身の柴田紘一郎先生を題材にして作詞作曲した「風に立つライオン」とい

う歌の中に、「僕たちの国は残念だけれど何か大切なところで道を間違えたようですね」という一節があります。この平和な日本が何を間違えたというのかと、私にはこの詞の意味がよくわかりませんでした。さだまさしさんが単に情緒的に使ったとは思えません。言おうとしている真実は今もわかりませんが、いつか彼にお会いする機会があれば、聞いてみたいと思っています。

米倉企業長 ゴールドメダル受賞

4月20日、カザフスタン共和国における卒後医師教育に対する長年の貢献をたえ、国立アスフェンディアロフ医科大学より、ゴールドメダルが授与されました
このメダルはカザフスタン政府の公式な賞です



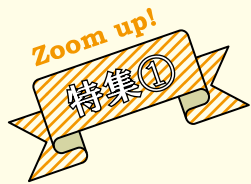
▲授与式の様子
▼ゴールドメダルと証明書



高口看護指導監 瑞宝双光章受章

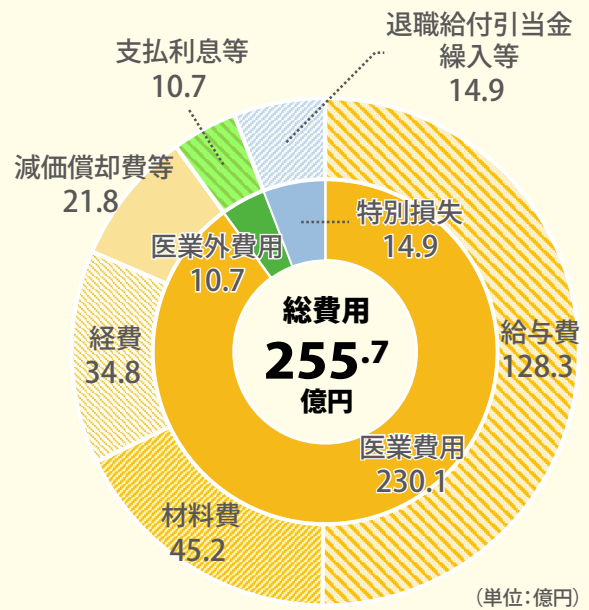
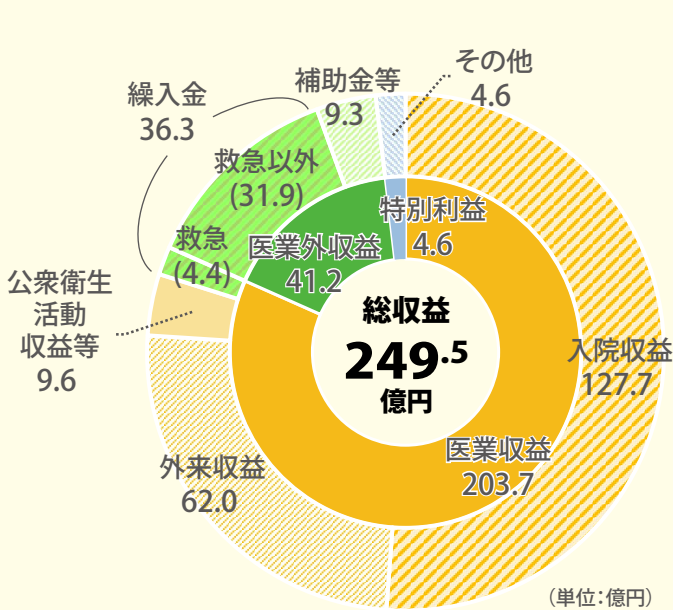
(高口看護指導監より)
平成27年度春の叙勲に際し、
瑞宝双光章を拝受し、皇居において
天皇陛下に拝謁いたしました。
この榮譽も皆さん方の温かい
ご指導とご支援の賜物と
深く感謝しております。





{速報} 平成26年度決算見込み

下の円グラフは、病院企業団の平成26年度の決算速報値を表したものです。



入院収益：12,767百万円 (対前年△174百万円)
 外来収益：6,198百万円 (対前年△73百万円)
 繰入金：3,629百万円 (対前年+187百万円)

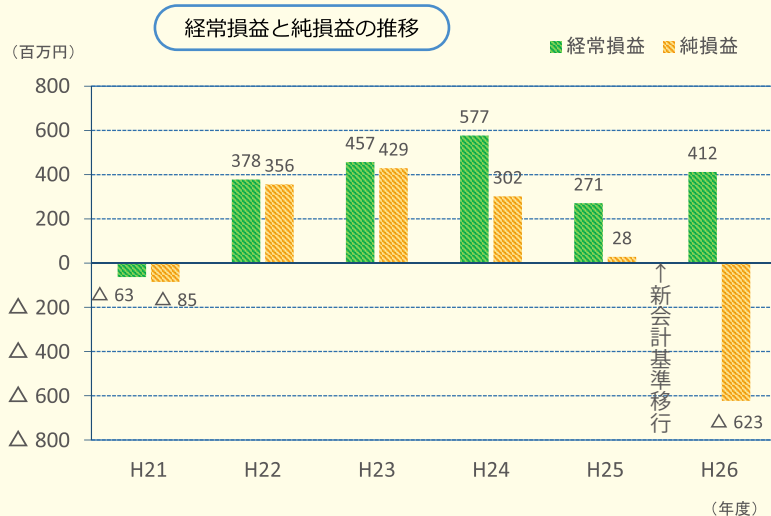
給与費：12,829百万円 (対前年+1,378百万円)
 材料費：4,516百万円 (対前年△160百万円)
 経費：3,484百万円 (対前年△1,341百万円)



POINT 1

本業である医業収益のうち入院・外来収益は約190億円で、患者数減により、前年との比較で約2.5億円減少しています。収益的収支における構成団体（県・市・町）からの繰入金は約36億円で、総収益の約15%を占めています。

繰入金とは？ 地方公営企業法が定める基準により、政策医療（結核・精神）を提供するために必要な経費などを構成団体が負担するものです。



POINT 2

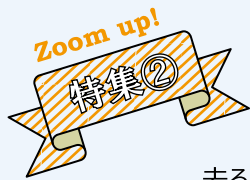
平成26年度の経常損益は、新会計基準移行による影響で約4億12百万円の黒字となっていますが、平成25年度と同じ基準で算定した場合、黒字額は約87百万円となり、前年より約1億84百万円悪化しています。また、引当金の義務化などにより、純損益は赤字となっています。

経常損益とは？

医業収益及び医業外収益から、医業費用及び医業外費用を控除したものをいいます。一会計年度における経営成績となります。

純損益とは？

総収益（医業収益、医業外収益、特別利益）と総費用（医業費用、医業外費用、特別損失）との差額をいいます。



新規採用職員研修 in いこいの村長崎

去る7月2日から3日の2日間にわたり、諫早市高来町にある「いこいの村長崎」で、平成27年度新規採用職員研修が行われました。各病院、各職種から65名が参加した様子を報告します。

1日目

◇米倉正大企業長あいさつ◇

研修の目的は…

知識をつけることではなく、お互いに顔見知りになること。
企業団として一体となり、どうすれば住民に良い医療を提供できるか考えてもらいたい。



◇講演:中山真・中原誠(放送作家Wマコト)

「医療人の接遇:笑顔の対応」



NSC(吉本総合芸能学院)の出身で、劇場を中心に漫才活動などを経験。その後、放送作家に転身。
2013年に(株)WMcommonsを設立し、日本初の漫才式セミナー講師として、全国の企業・病院等で講演・研修を行っている。

コミュニケーションにおける【5レンジャー】

- 笑顔: コミュニケーションの第一歩。患者さんを明るくする。
- あいづち: 相手を喜ばせることができる。同調する。
- 共有: コミュニケーションの突破口(青信号に)
- 擬音語: コミュニケーションがよりどりみどり(豊か)になる。スパイス的要素
- キャッチフレーズ: 相手のハートをキャッチする。



◇講演:川良数行副企業長

「長崎県病院企業団の現状」



「〇〇病院の職員ではなく、企業団職員としての意識をもってもらいたい。また常に疑問をもって物事に接すると想像が働く。」

◇親睦会



グループ対抗ゲーム

発表タイム



2日目

◇講演:五島中央病院 村瀬邦彦院長
「新規採用者に期待するもの」



重要なことは…

「ほう・れん・そう」
(報告) (連絡) (相談)

- ・上司に報告すべきか迷った時は、報告をする。
- ・隠さずに上司に指示を仰ぐこと。



◇ワークショップ:「地域住民に信頼される病院づくりに私たちは何ができるか」



～参加者の声～

- ・普段あまり接することがない職種の方や、他の病院の方と交流することで、よい刺激になった。
- ・コミュニケーションの大切さを改めて感じた。
- ・チームで動くことが多い研修だったので、お互いの意見を言い合ったり、情報交換ができ、とても有意義な研修になった。
- ・上司に言われて参加したが、自分のためになる研修だったので、参加してよかった。

総務部長 白川 誠 (しらかわ まこと)



総務部長は、本部業務の進行管理、議会や組合対応が主な仕事です。
3月まで4年間お世話になった島原病院から、引き続きよろしくお願ひします。
写真は、島原病院勤務の頃から始めた**我が家のバラ**です。時間を忘れ、幸せな気分になさしてくれます。



総務部 企画経営班係長 橋口 宏徳 (はしぐち ひろのり)



企画経営班では、主に対馬地区を担当し、新病院の開院式にも関わらせていただきました。
3月までは老岐振興局で勤務していましたが、老岐は麦焼酎発祥の地とも呼ばれ、美味しいお酒と老岐牛、豊富な魚介類に囲まれて健やかに3年間を過ごしました。今年度は3年間で増量した体重を少しでも減らせるよう頑張ります！

総務部 企画経営班主任主事 川上 芳明 (かわかみ よしあき)



企画経営班では、主に決算関係・医薬品購入等共同事業を担当しています。病院業務に携わるのは初めてになります。
出身は老岐で焼酎が大好きなのですが、最近健康診断の数値が良くないため、現在は節制に努めています。また、動物と触れ合うことが好きで、たまに長崎バイオパークに行っては癒されています。



総務部 企画経営班主事 出口 耕大 (いでぐち こうだい)



五島中央病院より研修派遣として参りました。企画経営班では、主に補助金関係・補助監査を担当しています。
長崎に来てからは、体を動かす機会をつくれず運動不足になりつつあります。
昨年、五島市の「夕やけマラソン」(ハーフ)を完走したので、**今年はフルマラソンにチャレンジ**しようと思っています。4時間を切るタイムを目標に頑張ります！

5月17日長崎県対馬病院が開院しました。
これに先立ち、5月9日に開院式及び祝賀会が執り行われました。

対馬病院 開院しました！



入院患者移送の際は、陸上自衛隊をはじめ、各方面より多大なご支援をいただきました。



{シリーズ}
地域から
..... Vol.4

大村市 (精神医療センター)

地域の見どころや病院での取り組みなどについて
紹介していただくコーナーです

▶ **大村の紹介**

長崎県の中心部に位置する大村市は、古くはキリシタン大名大村純忠が統治していた城下町で、明治以降軍都として栄え、昭和17年に市政が施行されました。昭和50年には世界初の海上空港が完成、平成2年には長崎自動車道が開通し、現在工事中の九州新幹線西九州ルートの駅が設置されるなど、交通アクセスの利便性を生かした着実な街づくりが進んでいます。

また、国指定天然記念物である「オオムラサクラ」や日本の歴史公園百選にも選ばれた桜や菖蒲などが咲き誇る「大村公園」などの自然に恵まれた街であるとともに、食べ物では500年以上の伝統を誇る「大村寿司」や一度食べ始めたら止まらない「ゆでピーナッツ」なども有名です。

▶ **精神医療センターの経歴**

当院は、昭和28年に現在の長崎県立大村特別支援学校の近く（大村市久原郷）に開院した長崎県立東浦病院を前身としております。その後、昭和60年に大村湾を臨む現在地（大村市西部町）に転院、「長崎県立大村病院」と改称、さらに平成16年に「長崎県立精神医療センター」と再度改称し、平成21年には長崎県病院企業団の設立に伴い「長崎県精神医療センター」として現在に至っています。



当院のアイドル
めいちゃん(♀)です。
ご来院の際はぜひ会い
に来てください!

▶ **精神医療センターが目指すもの**

当院は、民間病院では担うことが難しい司法精神医療、精神科救急医療及び児童・思春期精神科医療を柱とした専門医療に機能を特化しています。精神科救急医療センターでは24時間365日精神科救急患者の受入に対応しています。また、「ECTセンター」を設置しており、精神科専門療法としての電気けいれん療法を実施しています。

専門性の高い精神科医療体制を充実することにより、長崎県の精神科医療の中核病院として、こころの病を持つ人々の人権を尊重し、専門的な知識と技術を培い、良質な医療の提供を目指していきます。

休みの期待感

春のゴールデンウィーク（GW）は5連休でしたが、今年は秋にもシルバーウィーク（SW）と呼ばれる5連休が控えています。

仕事の関係で「自分には関係ない」という人もいらっしゃると思いますが、通常は勤め人にとってうれしい限りです。このSWは09年以来6年ぶりで、次に来るのは26年だそうです。まさに天体ショー並みということで「神カレンダー」というのだそうです。

年末年始休暇もそうですが、長い休みは終わってしまえば「あっという間だった」と思うのがいつものことです。私は、休み期間中はもちろん楽しいのですが、実は、その休みに入る前のわくわく感や開放感がいちばん好きです。

休みも最後の1～2日になると「ああ、また仕事か」と、まだ休み中なのにもかかわらず、気分が落ち込んで億劫というか、虚無感に支配されます。「サザエさん症候群」という言葉もありますが、多くの人がそんな状況ではないかと思います。

実は、この気分を避ける方策があるのです。カギとなるのが神経伝達物質のドーパミンです。ドーパミンは「喜びの物質」とも言われますが、「もうすぐ休みだ」という期待感もドーパミンを活性化させる刺激となるそうです。

ドーパミンを刺激するのは「休む」という行為よりも、「休むことができる」という将来への期待感ですから、この期待感を持続させればいいわけです。GWが終わったらお盆休みを、お盆休みが終わったらSWをとというふうに……。

ですので、長期休暇の直前になってバタバタ予定を立てたのでは効果はありません。期待感をもつためには、具体的な計画が必要です。長期の休暇が終わってしまう前に次の休暇の計画をたてることです。これにより、「まだ休みがある」という期待感を脳に与え続けることができるというわけです。皆さんも試してみてくださいはいかがでしょうか。仕事の能率もアップするにちがいません。

え、計画をたてるにも先立つものがない？
困りましたね。でも方法はあります。安・近・短という言葉もあるように、お金をかけなくても楽しむ方策はいくらでもあります。キーワードは「わくわく」「ときめき」。それを考えるのも、楽しいものですよ。

（文：副企業長 川良数行）

編集後記

みなさん、こんにちは。

みなさんが考える夏の風物詩とはなんでしょうか？

長崎の夏の風物詩といえば「精霊流し」です。

本部前にある県庁坂は精霊船の通過地点であるため、毎年多くの見物人で溢れます。まだ見たことが無い方は、一度ご覧になってはいかがでしょうか。

（ふくよか編集担当）



ふくよか

表紙のはなし 新規採用職員研修

平成27年7月2日、3日に新規採用職員研修が行われました。寝食を共にすることで、職種を超えた絆をつくりました。

平成27年7月発行

編集・発行／長崎県病院企業団本部
〒850-0033 長崎市万才町4-12 日本生命ビル旧館6階
TEL.095-825-2255 FAX.095-828-4759
E-mail : honbu@nagasaki-hosp-agency.or.jp
URL : <http://www.nagasaki-hosp-agency.or.jp/>



長崎県病院企業団

検索